

# 豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第9号

発行日 2015.12.3

## 平成27年11月 調査結果 “豊田は晴れ、全国、東海は曇り”

	現状判断 D I				先行き判断 D I				水準判断 D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	51.8	54.1	51.7	52.7	52.9	55.6	53.3	54.0	49.6	57.0	65.0	53.5
全国	48.1	47.4	51.1	48.2	49.3	47.5	51.5	49.1	46.9	46.6	56.1	47.7
東海	48.8	—	—	48.3	52.7	—	—	51.9	46.6	—	—	47.6

【天気図の見方】 大きな晴れ：D I 60点以上／晴れ：D I 50～60点未満／曇：D I 40～50点未満／雨：D I 40点未満

### 【まとめ】

今回の調査結果は、賃金・消費の伸び悩み、中国をはじめとする海外経済の不透明感などに加え、長期的視点では人口の減少などを心配する声の増加により、総合D Iは低下しました。しかしながら、前回調査時同様、豊田は全国・東海比で景気実感（マインド）が依然優位にあることが確認されます。豊田における明るい未来や、経済の好循環実現を引き続き期待できる結果と言えるでしょう。

- 豊田の総合D I指数は、現状・先行き・水準判断いずれも晴れですが、前回調査時（27年5月）対比では小幅な悪化となりました。家計、企業、雇用の部門別に見れば、現状並びに水準判断における企業以外は全て悪化となっています。しかし、水準判断における家計（小売、飲食）の曇り以外は全て晴れを維持しています。特に、雇用は大きな晴れを維持しました。
- 全国・東海が曇りに悪化する項目が大半であるのに対し、豊田は総じて晴れを維持しています。好調な地場産業に引っ張られる形で、比較的安定した景気実感が広く浸透し、維持されている姿が窺えます。因みに、水準判断における小売以外は、各判断とも全業種で優位性を維持しています。
- モニターの方に“期待するほどの景気改善がない”との失望を洩らす声がありましたが、特別調査の所得見通しでは、所得増への期待感の減速が見てとれました。幸福度の若干の後退もみられました。  
また、プレミアム付商品券の消費刺激効果についても懐疑的な声が多く聞かれました。一方で、宝くじの消費割合は僅かながら高まっており、消費者が消費拡大の踊り場にいると推察されます。その点で、商品券の販売結果の精査や所得引上げへの意思表示などを通じた消費喚起の端緒作りがなお求められることが観察されました。

- 調査期間：平成27年11月2日～20日
- 調査客体：300名（家計/企業/雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感にキャッチ出来る方）
- 有効回答：258名 / 有効回答率：86%
- 調査項目：
  - ・2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？ ⇒ 現状判断D I
  - ・現在から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
  - ・現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I
- D I算出方法：

<問い合わせ先>  
豊田商工会議所：深見  
0565-32-4593  
豊田信用金庫：高橋  
0565-36-1384

評価段階	5	4	3	2	1
現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

5段階評価での回答数集計→評価別回答数の構成割合（100%比）を算出→構成割合に上記の付与点数を掛けて合計値を算出＝D I値です。D Iは“景気の動きに対する評価の人気投票”とも言えます。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

本調査は、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同して半年に1回（5月/11月）、豊田市に居住もしくは勤務されている個人の方を対象に、身の周りの景気について、その実感を聞く調査です。内閣府「景気ウォッチャー調査」（街角景気）に準じて実施し、その直近10月調査の全国と東海地区の結果と比較し、とりまとめました。また、前回に引き続き、豊田市の消費意欲と幸福感、更にプレミアム付商品券の消費刺激効果の有無を調べました。行政に対しても、皆様から寄せられた施策案を還元して参ります。

# 概括

# 業種別DIの前回調査比 / 全国比

## 現状判断

総合DI (豊田)



豊田は総合で晴れ。業種別には小売は曇り、その他は引き続き晴れ。

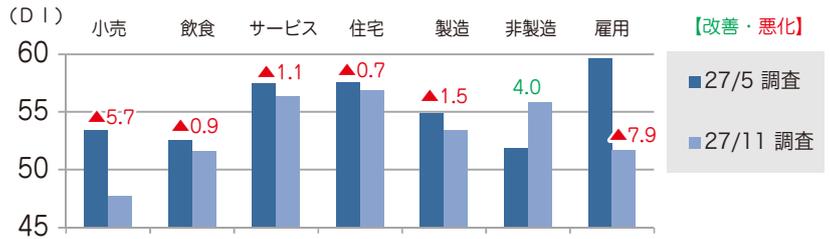
前回比では非製造業を除き、各業種の判断は小幅悪化。中でも小売、雇用での後退が目立ちます。

全国比では、全業種で引き続き優位性を維持。東海対比でも優位性を維持しています。

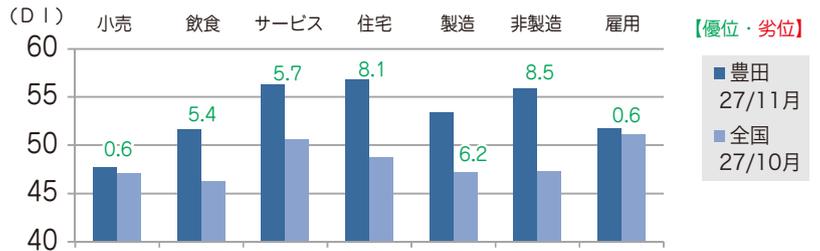
豊田  
前回調査比

全国比

非製造業を除いて、弱い動きが見られる。DI 50を割った小売に注視。



全業種、全国比優位性を維持。



## 先行き判断

総合DI (豊田)



豊田は全業種晴れで、総合でも現状判断を若干上回る晴れ。

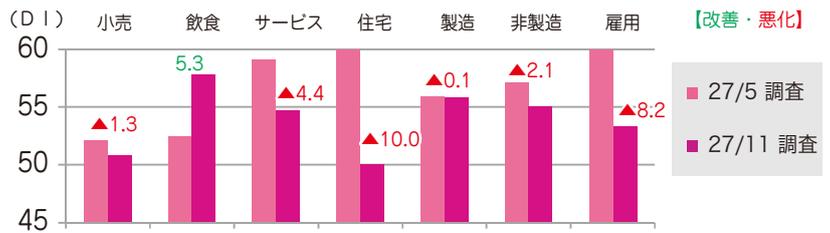
前回比では飲食を除き、各業種の判断は若干悪化。中でも住宅、雇用、サービスは大きく後退しました。

全国比では、全業種で優位性を維持。中でも製造、飲食、非製造の優位性が高く、東海対比でも優位性を維持しています。

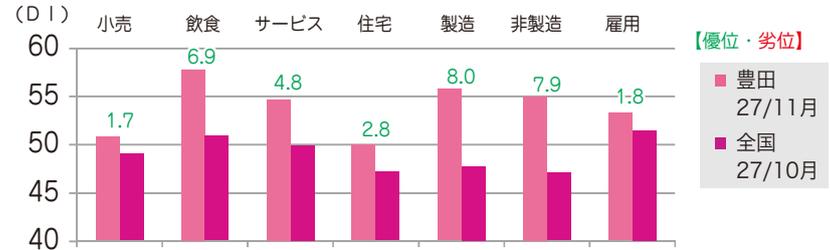
豊田  
前回調査比

全国比

住宅と雇用の落ち込みは目立つものの、DI 50を全業種、上回る！



全業種、景気先行き見通しは全国比、前向きな様子！



## 水準判断

総合DI (豊田)



豊田は総合で、現状判断を若干上回る晴れ。業種別には、小売、飲食が曇り、雇用が大きな晴れ、その他は晴れ。

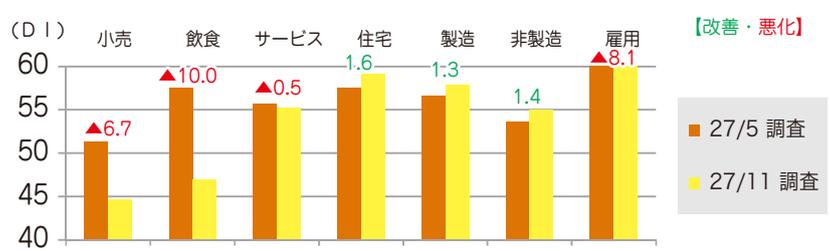
前回比では、小売、飲食雇用で判断が悪化。その他はほぼ横這い圏内です。

全国、東海比でも優位性を維持。中でも製造、住宅、雇用、非製造の優位性が目立ちます。

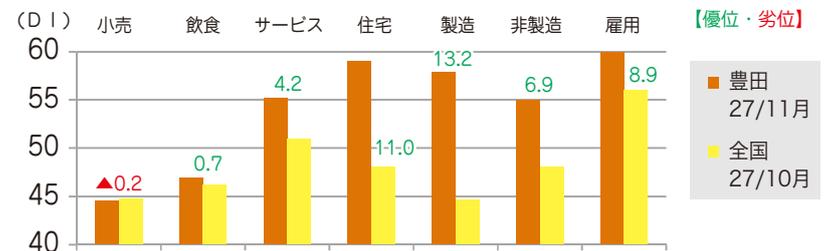
豊田  
前回調査比

全国比

飲食、雇用、小売の水準判断が低下！



豊田における製造、住宅、雇用、非製造の水準判断は高い！

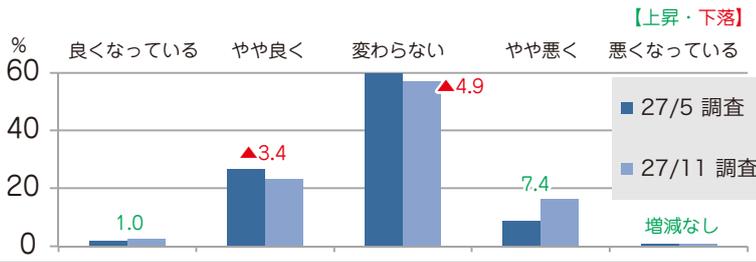


# 回答別割合の 前回調査比 / 全国比

# 景気モニター生の声

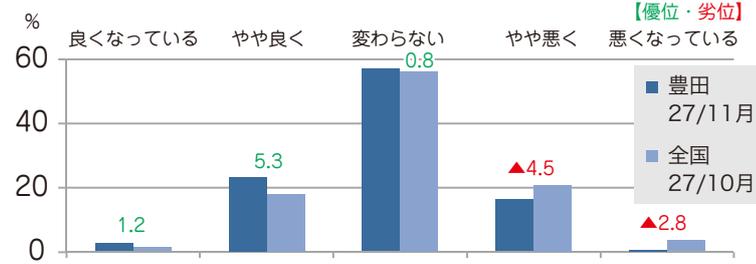
豊田：前回調査比

小幅悪化。変わらない、やや良くなりが減り、やや悪くなりが増えた。



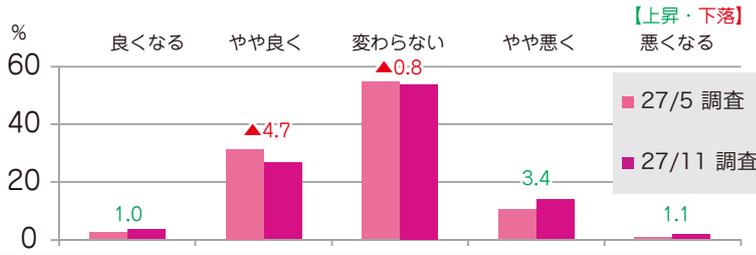
全国比

全国比優位性維持。やや良くなりが多く、やや悪くなりが少ない。



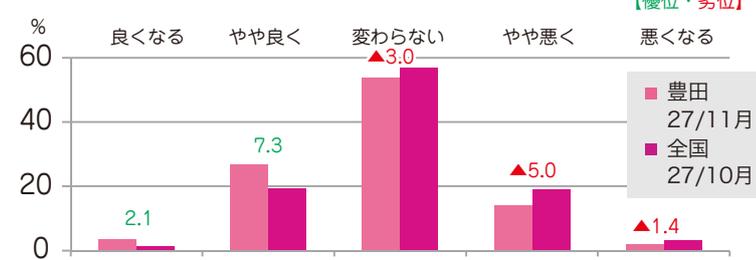
豊田：前回調査比

小幅悪化。やや良くなりが若干減り、やや悪くなりが若干増えた。



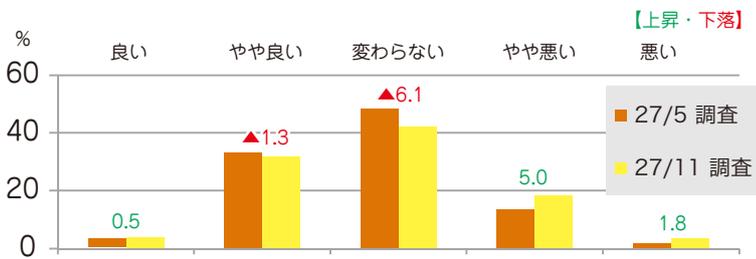
全国比

全国比優位維持。良い、やや良くなりが多い。



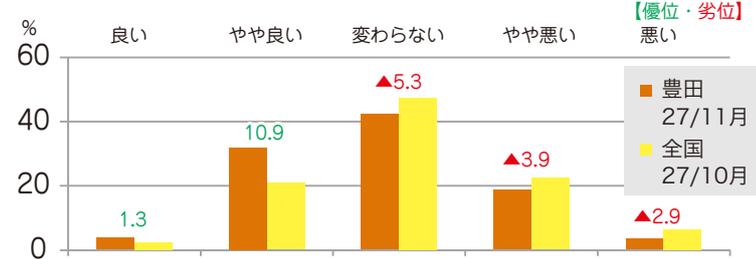
豊田：前回調査比

小幅悪化。変わらない、やや良くなりが減り、やや悪い、悪いが増えた。



全国比

全国比優位性維持。良い、やや良くなりのうちやや良くなりが突出して多い。



< + : 回復感あり - : 回復感なし >

- + : ランチタイムの来客数が増えている。(飲食店経営者)
- + : インバウンド(訪日外国人旅行)の増加が顕著。(都市型ホテル従業員)
- + : 新型車の大幅増産や高級車が予想以上の売れ行き。(輸送用機械器具従業員)
- + : 不動産仲介業者の取引件数からやや良いと判断。(司法書士)
- + : 取引先も大変忙しく、土日出勤も見られる。(金属製品製造業経営者)
- + : 海外出張が増加している。(旅行代理店社員)
- : 仕入価格の上昇、販売価格の下落、薄利である。(自動車販売店従業員)
- : 建設業で、仕事量、価格、人員のミスマッチがある。(建設業経営者)
- : 設備投資が一巡し、右肩上がりにならない。(通信会社社員)
- : 企業が潤っても従業員に還元されていない。(自動車備品販売員)

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

- + : 物価上昇や大手企業の賃上げで景況感は改善。(商店街代表者)
- + : 消費税が10%に上がるまでは駆け込み需要が期待できる。年末を控え、お金も動くのではない。(住関連従業員)
- + : 取引先の建築、自動車向け需要予測が強気である。(化学工業従業員)
- + : プリウス特需がある。また続くものと思われる。(金属製品製造業経営者)
- + : キャンセルが出る程、自動車関連は忙しそうだ。(ゴルフ場従業員)
- + : 失業給付の受給者が僅かではあるが減少している。(職業安定所職員)
- : 将来の不安から消費に対する節約傾向が見える。(設計事務所職員)
- : 外注から内製化への動きが顕著で、雇用の継続が危ぶまれているという話を聞く。(学校就業担当者)
- : 先行き不透明感が強く、格差も開くばかり。(輸送用機械器具従業員)

## 自由回答：景気モニターからの声 “一部紹介”

- ・大都市に比べ我が街のインバウンド需要の受け口が少ないことが気がかり。特区認定や窓口の共同化、免税対応等をするべき時期だと思う。
- ・商品券販売はプレミアム付の利点で行列が出来る。従来は大型店に流れたお客様がプレミアム付商品券発行により個店へ流れ、個店利用者が増えた様に思われる。この点は良かった。
- ・望まれる人材の雇用が非常に困難になっており、先行きが非常に不安である。
- ・リニアによる一部都市への集中、新幹線の拡充で取り残される町、コンビニの拡充で一般商店の減少、蚊帳の外の老人、あまり先がよくなるとは思えない。
- ・首都圏では興行の為の施設が建替の為、不足してくるようです。文化・スポーツ・エンターテイメント公演の誘致をよろしくお願いします。
- ・製造業に偏り過ぎている。商業がもっと発展しないと寂しい町のまま。他県・他国の目など気にせず市民の生活を考えた街づくりをしてほしい。

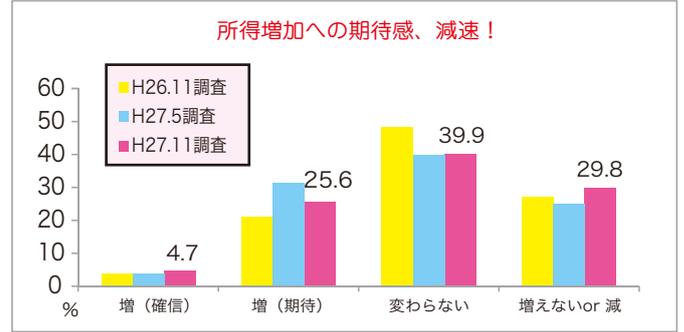
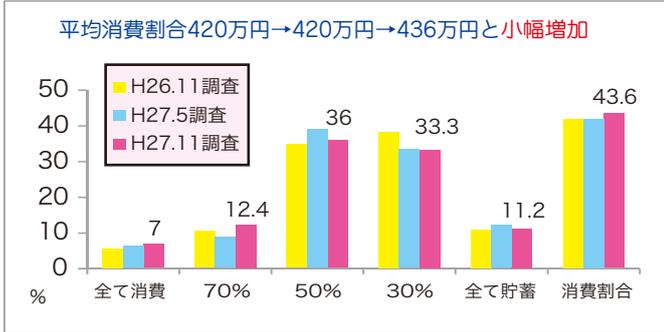
～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

# 【特別調査】

## 豊田市における消費動向・見通し・幸福度の調査（継続調査）

宝くじ1000万円が当たった場合、何%を消費に回しますか？

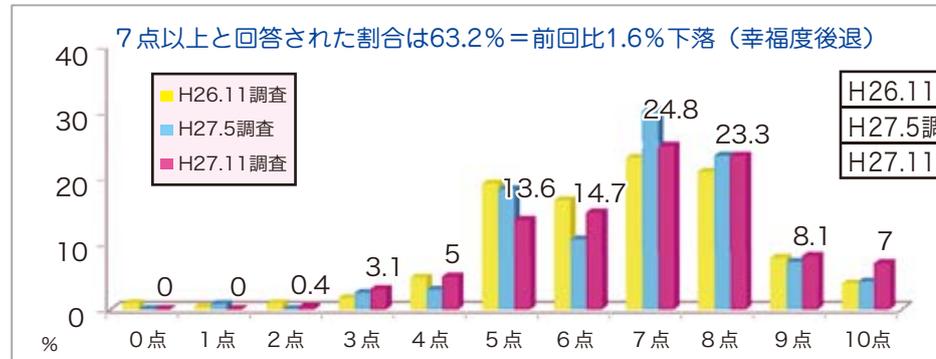
今後、所得は増えていくと思いますか？



平均消費割合は27/5対比若干増となりました。内訳を見ると、50%以下の構成割合が減り、70%以上が増加しました。この点、消費意欲は僅かではありますが高まっている様子です。

所得増(確信)の割合が前回比0.9%上昇したものの、増えないあるいは減るとの回答が4.8%増加しており、総体としては所得増への期待感の後退が見てとれます。

あなたはどの程度幸せですか？（とても幸せを10点・とても不幸を0点とし幸福度を調査）

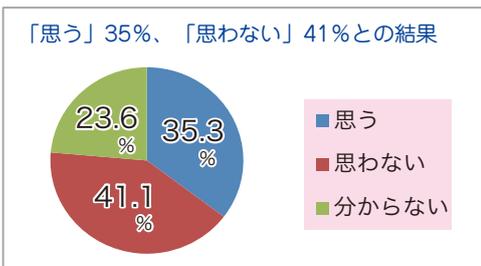


	0点～	4点～	7点～
H26.11調査	4	40.4	55.6
H27.5調査	3.3	31.9	64.8
H27.11調査	3.5	33.3	63.2

7点以上の構成割合が減り、7点以下の割合が増えました。幸福度の下方遷移が僅かながら発生しています。景気実感や所得増加期待の後退が影響している様子が窺えます。

## プレミアム付商品券の消費刺激効果について（景気モニターとしての実感調査）

購買意欲を刺激する効果があると思うか？



「思う」と回答した方の判断理由とその割合（%）

商品券の購入時に行列が出来たから。	54.3
スーパーのレジなどで商品券を使う人をよく見るから。	23.9
金額の高い買い物をしたという話を聞くから。	9.8
その他	7.6
お店の売上が上向いているといった話をよく聞くから。	4.3

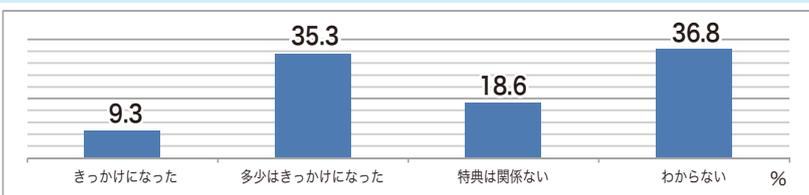
「思う」と回答された方の半数以上が「行列」を理由に挙げています。マスコミでの話題性もあり、発売当日は深夜3時から並ばれた方もいたようです。次に「商品券を使う人をよく見るから」が続いています。また、伝聞ながら、「金額の高い買い物をした」、あるいは「お店の売上げが上向いている」との判断理由も少なからず見られます。この動きを切れ目なく次の消費拡大に繋げていく努力が望まれます。

「思わない」と回答した方の判断理由とその割合（%）

商品券自体が多くの人に引き渡っていないから。	45.8
商品券の金額以上の消費に繋がっていないと思うから。	33.6
商品券の取扱店舗が限られているから。	8.4
商品券取扱期間終了後は、消費意欲が低下する反動が生じるから。	8.4
一人あたりの商品券の購入可能金額の上限（5万円）が低いから。	3.8

41%の方が「思わない」と回答され、そのうちの約半数の方が「商品券が行き渡っていないから」と回答されました。27/5調査での高い商品券購入意欲（85%以上の方が「商品券購入を検討」と回答）と比べると意外な結果となりました。また、「商品券の金額以上の消費につながっていない」との回答やその他の理由も合わせて見ると、消費者が消費拡大の「踊り場」にいる状況が推察されます。その点でも商品券発行で見られた消費刺激に繋がる端緒を丁寧に見極めること等が期待されます。

商品券の特典が店舗選択の動機となったか？



半数近くの方が「特典の有無」をもって、購買時の店舗選択をしていたという結果になりました。お店側から見ても「特典の有無」を前向きに捉えることが出来るものと思われます。